

令和5年度学校評価（後半）を振り返って

学校評価にご協力ありがとうございました。

令和5年度学校評価（後半）の集計結果をお知らせします。先日は保護者の皆様、児童（低、高学年別）、教職員による評価（振り返り）のアンケート（インターネットを利用した回答形式）にご協力いただき、ありがとうございました。

洛央小学校では、「一人ひとりを大切に 心ゆたかに たくましく生き抜いていく子を育てる～気づき、考え、判断し、行動できる子の育成～」を教育目標とし、教育活動を進めています。1学期の時と同じく、今年度は昨年度と質問内容を一部変更して実施しています。今回の集計結果を真摯に受け止め、3学期や来年度以降の教育活動の改善に繋げていくように活用させていただきたいと考えています。

- ①子どもは、友達の考えや思いを聞いて理解しようとしていると思われますか。（保護者）
話し合うときに、相手の考えや思いを最後まで聞いて分かったとすることができましたか。（児童）
子どもは、友達の考えや思いを聞いて理解しようとしていると思われますか。（教職員）

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	45%	51%	4%	0%
児童（高学年）	49%	45%	5%	1%
児童（低学年）	66%	27%	6%	1%
教職員	27%	63%	10%	0%

「人の話を聞く」ことについて、ほぼ9割の回答者が、「そう思う」「大体そう思う」と答えていました。特に低学年児童については、昨年度のこの時期と比べると4%向上していました。「聞くこと」を大切にしたいと考えている子どもたちが増えており、とてもうれしく思います。

洛央小学校では、様々な教科等の学習において、「お互いの考えや気持ちを伝え合う活動」に重点を置いて取組を進めてきました。感染症対策の制限が解かれ、他者と関わる機会を増やしていくことができた1年間でした。来年度は、これまで以上に「相手の思いをしっかりと聞き、理解を深めようとする意識」をさらに伸ばしていきたいところです。そのためにも、周りを取り巻く大人たちが子どもの話をしっかりと聞くことを大切にしていきたいものです。引き続き、安心して話せる環境づくりを心がけながら、子どもたちが多様な人々とコミュニケーションを取り、互いの考えや思いを聞くことで、より視野を広げたり、学びを深めたりしていけるように取り組んでいきます。

- ②子どもは、自分の考えや思いを伝えようとしていると思われますか。（保護者）
話し合うときに、自分の考えや思いを相手に分かるように伝えようすることができましたか。（児童）
子どもは、自分の考えや思いを伝えようとしていると思われますか。（教職員）

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	27%	58%	12%	3%
児童（高学年）	46%	40%	11%	3%
児童（低学年）	63%	27%	8%	2%
教職員	15%	79%	4%	2%

「自分の考えや思いを話すことができる」については、80～85%程度の回答者が「そう思う」「大体そう思う」という結果でした。これは昨年度の同時期の結果と比べると、5%以上の向上していました。感染症対策の制限が解かれ、自分の思いを話すことに自信をもって取り組めた結果が表れていると思っています。

一方で、子どもたちにとっては「自分の考えや思いを話すこと」に対して苦手意識や不安感等を抱いている児童もいます。いろんな機会を通して、様々な人に話しかけたり、対話したりする活動は、コミュニケーションを深める上で、とても大切です。今年度は月一回の児童集会で、全校の場で話したり、伝えたりする機会を設定しました。来年度以降も学級・学年だけでなく、全校の前で「話すこと」の機会を取り入れていきます。

③子どもは家庭学習について、計画を立てて進めることができていると思われますか。(保護者)
家庭学習は、計画を立てて進めることができましたか。(児童)
子どもは家庭学習について、計画を立てて進めることができていると思われますか。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	20%	47%	26%	6%
児童（高学年）	46%	35%	14%	5%
児童（低学年）	62%	23%	10%	5%
教職員	12%	68%	20%	0%

「家庭学習」については7割から8割の回答者が「そう思う」「大体そう思う」という結果でした。前半と比べると大きな変化はありませんでした。

今年度、新たに本設問「家庭学習」についての内容を加え、「子どもたちが、自主的に家庭学習に取り組む力を伸ばす」ことを見つめ直せればと考えました。子どもたちそれぞれが興味・関心をもった活動に挑戦したり、苦手としている課題に対しても前向きに取り組んだり、学級活動に向けた準備を自発的に整えたりなど、いろんな分野に広げて取り組んでいくことができます。本校としても、子どもたちが自主的に家庭学習に向かう指導を工夫していきます。

④子どもは、自分や友達を大切にできていたと思われますか。(保護者)
自分や友達を大切にできましたか。(児童)
子どもは、自分や友達を大切にできていたと思われますか。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	49%	46%	4%	1%
児童（高学年）	71%	25%	3%	1%
児童（低学年）	79%	18%	2%	1%
教職員	18%	76%	6%	0%

「友達と協力すること」については、9割以上が「そう思う」「大体そう思う」という回答結果でした。特に低学年の児童については、昨年度より8%上昇していました。どの回答者も自分も友達も大切にしたいという思いをもつことについて肯定的に捉えており、うれしく思っています。

今年度は感染症対策の制限解除に伴い、グループ活動や異年齢との交流を増やしてきました。たてわり活動や、総合学習における他学年への発表などの取組はその一端です。それは他者とのかかわりを身に付けていく大事な機会となりました。一方、他者とのかかわりで、意見がくい違うこともあります。しかし、対立する意見をお互いに真摯に受け止めあい、よりよい方向を模索していくことが、社会集団を築いていく上で大切です。いろんな意見を受け止めた先にある、人との協力の姿勢を今後も子どもたちに付けていきたいと思っています。

⑤子どもは進んで運動をしていますか。(保護者)
進んで運動をしていますか。(児童)
子どもは進んで運動をしていますか。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	42%	34%	20%	4%
児童（高学年）	50%	27%	16%	7%
児童（低学年）	71%	17%	7%	5%
教職員	21%	70%	9%	0%

「進んで運動すること」については、昨年度の同時期と比べると、どの評価者も1～5%の向上が見られました。中でも、「そう思う」の回答が保護者・児童では昨年度より約5%上昇していました。

健やかな体や豊かな心を育むためには運動も大切な要素の一つです。休み時間や放課後において、元気に体を動かす子どもたちの姿が以前よりも多く見られるようになりました。また、児童会を中心に休み時間の運動の企画を発案し、実際に運営もしてくれました。さらに、体育科を軸とした研究を進めてきたことで、子ども

たちが夢中になって体を動かしたり、友達とよりよい体の動きを話しあい、励ましあったりする姿も増えました。今後も体を動かす取組を大切にしていき、「運動が楽しい」という思いをもつ児童を増やしていきたいです。

⑥子どもは好き嫌いせずバランスよく食べていますか。(保護者)

好き嫌いなく給食が食べられていますか。(児童)

子どもは好き嫌いせずバランスよく食べていますか。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	31%	43%	22%	4%
児童（高学年）	56%	30%	10%	4%
児童（低学年）	69%	15%	9%	7%
教職員	27%	58%	15%	0%

「好き嫌いせずバランスよく食べること」については「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した保護者が約25%で前半と変わりませんでした。しかし、「そう思う」と回答した児童・教職員が、前半より増加傾向にあり、苦手な献立でも一口でも食べようと心がけた子どもたちが増えた印象です。

食事は運動とともに、健やかな体や豊かな心を育みます。学校では食に関する指導を積み重ねています。給食時間には、食への興味関心を高めるクイズや、さまざまな味わいに気付くことができるよう、児童から届いた味わいの感想交流など行っています。今後、2月には給食週間を設定し、給食への学びを深める取組を行う予定です。今後も、家庭でも自身の体づくりとつなげて、好き嫌いなく食べていくことができるよう、支援・指導を進めていただきたいと思います。ご家庭でのお声かけもよろしくお願いします。

⑦子どもは、毎日必ず朝ごはんを食べていますか。(保護者)

毎日必ず朝ごはんを食べていますか。(児童)

子どもは、毎日必ず朝ごはんを食べていますか。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	82%	14%	3%	1%
児童（高学年）	79%	14%	3%	4%
児童（低学年）	86%	8%	3%	3%
教職員	25%	64%	11%	0%

「朝ごはんを食べている」という設問については、前半と引き続き、保護者・児童ともに「そう思う」「大体そう思う」という回答が9割以上という結果でした。教職員の回答は昨年度よりも「そう思う」「大体そう思う」の回答が増えていますが、さらに、朝食の大切さを伝えていく機会を意識していきたいと思います。

保護者・児童の結果がとてもよい高いことをうれしく思うとともに、保護者の皆様の朝食に対する意識に感謝いたします。一方で朝ご飯を食べなかったり、少ししか食べていなかったりする状態で登校している児童もいます。児童全員がきちんと朝食を食べているという習慣を続けていけるように、教職員も指導の工夫をしていきます。保護者の皆様のご協力を引き続き、よろしくお願いします。

⑧子どもは登下校時も含め、安全に生活できていますか。(保護者)

登下校などで、自分も人も安全にすごせるように生活できていますか。(児童)

子どもは登下校時も含め、安全に生活できていますか。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	48%	48%	3%	1%
児童（高学年）	68%	31%	1%	0%
児童（低学年）	80%	18%	2%	0%
教職員	9%	74%	15%	2%

「安全に気を付けて生活すること」については、8～9割が「そう思う」「大体そう思う」という回答でし

た。中でも児童の回答は98%を越えており、本校が大切にしている安心・安全な学校の取組の成果が表れつつあると感じています。

一方で、子どもたちの校内での休み時間の様子や登下校での姿を見ていると、楽しいことに夢中になってしまう結果、ヒヤリとさせられる場面もあり、教職員の回答が保護者・児童よりも低いこととつながっています。廊下や歩道の歩き方、遊具の使い方、周りの人や物との安全な距離感など、意識を高めていきたい点は多々あります。今年度、避難訓練は複数回実施し、自分の身を守る取組を重ねてきました。また、教職員は安全に関する実地訓練（職員研修）を数回行い、「子どもたちの命・安全を守りきる」という使命の下、意識・技術向上に努めてきました。2月にも実地訓練を予定しており、来年度も見据えて、安全に対する意識を子どもも大人も高めていきたいと思います。

⑨子どもは、自分で目標をたて、その目標を達成しようと行動に移すことができますか。（保護者）
自分で目標をたて、実行していくことができましたか。（児童）
子どもは、自分で目標をたて、その目標を達成しようと行動に移すことができますか。（教職員）

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	21%	54%	23%	2%
児童（高学年）	42%	40%	14%	4%
児童（低学年）	64%	23%	9%	4%
教職員	7%	84%	9%	0%

「目標をもってがんばること」については、「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した保護者・高学年児童・教職員は前半と比べると3～10%減少していますが、昨年度同時期の設問と比べると、保護者は課題を感じているようでした。子どもたちが目標をもってチャレンジしていく活動について、まだまだ難しさを感じているようです。

京都市で運用している「生き方探究パスポート」を通して、子どもたちが「なりたい自分」を見つめ、イベントや節目ごとに振り返る機会を数回設定しています。その度ごとに家庭に持ち帰り、コメントをいただいています。この積み重ねを通して、自分の良さや得意なことを見つけ、自分の成長を見つめ、将来の目標を考えるきっかけにしたいと思っています。また、スポーツフェスティバルやハートフル洛央などの大きな行事を設定し、「自分の力を伸ばす」「おうちの人に成長した姿を見せる」といった目標を掲げて取り組みました。さらに、日々の授業や教科ごとの学習において、めあてを設定したり、地域教材と関連した教科・総合学習を展開し、その内容を他学年・保護者・地域の方に発表するという目標を立てたりして、その達成に向けて取り組む指導を実施してきました。今後も「目標を設定する」→「目標の達成に向けて努力・練習を重ねる」→「結果をふりかえる」といった流れを積み重ねて、子どもたちのよりよい成長につなげたいと考えています。

⑩子どもはあいさつを自分から進んでできていると思われますか。（保護者）
あいさつを自分から進んでできていますか。（児童）
子どもはあいさつを自分から進んでできていると思われますか。（教職員）

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	31%	48%	18%	3%
児童（高学年）	61%	27%	9%	3%
児童（低学年）	65%	23%	8%	4%
教職員	16%	66%	16%	2%

「自分からあいさつをする」という設問に関しては、児童・保護者・教職員ともに約8割が「そう思う」「大体そう思う」という回答でした。児童については、昨年度の同時期と比べると3%上昇しています。また、前半と比べてみると「そう思う」と答えた高学年児童の割合が5%多くなり、児童会の取組や、高学年から実施した朝のあいさつ運動の成果が表れつつあると感じています。

洛央小学校の玄関で交わされる毎朝の「おはよう」「おはようございます」の声はとてもすがすがしく感じるとともに、安心感を与えてくれます。また、朝のあいさつだけでなく、「こんにちは」や「さようなら」のあいさつ、また、「ありがとう」「どういたしまして」など、何気なく発している言葉のやりとりなどは、人と人とのつながりを円滑にしたり深めたりする上でとても大切なものです。あいさつは人間関係づくりの土台です。そんなあいさつの大切さを伝え、実践ができるように、今後も子どもたちに支援・指導を続けていきます。